

今週（10月13日から10月17日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.475～0.478%が中心となった。加重平均レートは、12日(火)～14日(木)まで0.477%で推移し、17日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、月内物で0.48～0.55%程度で出会いが散見された。今月下旬に予定されている金融政策決定会合を跨ぐ1～3M物では、オファーサイドの利上げに対する警戒感がやや緩和しレート目線が低下したことから、0.60～0.62%で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、前週末に引き続き490兆円程度から始まり、15日(水)の社会保障費や年金定時払いにより497兆円まで増加した。その後は、16日(木)に20年債発行による減少、17日(金)に国債買入オペによる増加が見られたものの、小幅な変動に留まった結果、497兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レボ市場

今週のレボ市場は、0.49～0.505%で推移した。週を通してオファーサイドの勢いが強かったことから、付利金利近辺での推移が中心となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～477回、5Y150～181回、10Y355～380回、20Y180～194回、30Y65～88回、40Y13～18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが底堅く推移した。

16日(木)に実施された1Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでも底堅く推移した。

17日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでも強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、建設、不動産、卸売などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、9月末に21兆円台まで減少したものの、期明け後は調達再開の動きを受けて緩やかな増加基調となり、16日(木)時点で、23兆円台後半まで回復する展開となった。

発行レートは引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/13 (月)						
10/14 (火)	46,847.32	1.660	152.50	0.477	0.498	4,896,800
10/15 (水)	47,672.67	1.650	151.61	0.477	0.498	4,968,000
10/16 (木)	48,277.74	1.651	150.62	0.477	0.497	4,960,700
10/17 (金)	47,582.15	1.625	150.08	0.477	0.499	4,974,100

来週（10月20日から10月24日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
10/20 (月)	高田日銀審議員 中国経済連合会における講演			
10/21 (火)		GX10 Y 10/22発行 3,000億円		
10/22 (水)	9月の貿易統計(財務省 8:50)			9月の英消費者物価指数
10/23 (木)		流動性入札 10/24発行 2,500億円	交付税借入 11/5借入 13,000億円	9月の米中古住宅販売件数
10/24 (金)	9月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 8月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 8月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TDB 3M 10/27発行 43,000億円		9月の米新築一戸建て販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/20 (月) 日銀予想	▲ 600	▲ 6,100	▲ 6,700	国債補完	1,400		1,400	▲ 5,300	TDB3M発行▲43,000 償還43,000 TDB1Y発行▲32,000 償還32,000 流動性供給発行▲6,500 エネルギー対策借入▲6,400 期日6,300
10/21 (火) 弊社予想	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
10/22 (水) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 3,500	▲ 4,500				0	▲ 4,500	GX10Y発行▲3,000
10/23 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 6,000	▲ 7,000				0	▲ 7,000	交付税借入▲13,000 期日11,000
10/24 (金) 弊社予想	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	流動性供給発行▲2,500
週 間 合 計	▲ 2,600	▲ 15,600	▲ 18,200	—	1,400	0	1,400	▲ 16,800	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.45～0.50%程度での推移が予想される。短国市場は、24日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、特段大きなイベントが無いなか、月末に向けて発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、20日(月)に高田日銀審議員 中国経済連合会における講演、22日(水)に9月の貿易統計、24日(金)に9月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、23日(木)に9月の米中古住宅販売件数、24日(金)に9月の米新築一戸建て販売件数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。